

## 事業計画書

平成 22 年 1 月 26 日

団 体 名	特定非営利活動法人 港南区レクリエーション協会		
代 表 者	菅 伸也	団体設立年月日	平成 17 年 10 月 20 日
団体所在地	横浜市港南区港南台六丁目 1 番 32 - 204 号		
連 絡 先	Tel 832 - 2768      Fax 832 - 2768		
現在運営している 施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
港南台北公園こども ログハウス	ログハウス	港南区港南台 1 - 3	始 18 年 4 月 1 日 至 23 年 3 月 31 日
横浜市上大岡コ ミュニティハウス	コミュニ ティハウス	港南区上大岡東 2 - 9 - 38	始 21 年 10 月 1 日 至 26 年 3 月 31 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日

## 1 申請団体に関すること

(1) 団体の経営方針について

(2) 団体の事業（活動）実績について

(1) 団体の経営方針について

特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会（以下「協会」）は、区民に対して講座や講演会、野山の散策、子ども体験活動及び横浜市地区センターを中心とした地域施設協働事業に関する事業を行い、社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成の推進を目的にした活動を通じて、相互交流を深め、地域コミュニティづくりや地域連帯意識が高揚されるよう、地域に密着した経営に努めております。

また、幼児、小学生、中学生向け事業を合理的に実施する方法として、協会会員の多種多様な能力と長年の青少年事業の経験を活かし、活動経費の縮減に努力しております。

(2) 団体の事業（活動）実績について

協会の前身は、昭和 59 年に始まった港南区中学生交流キャンプで、企画運営を担った青少年指導員と参加した青年が中心となった地域活動グループです。平成 6 年に港南区体育協会レクリエーション部設立以降、青少年キャンプを始め幅広い層の区民が参加できる事業を行ってまいりました。

また、特定非営利活動法人化に伴い、平成 17 年 11 月から少年の学び場“Yokohama ちゃれんじゃーず”を実施しております。この学び場は、平成 17 年度第 2 回横浜市青少年育成活動補助事業及び平成 18 年度から継続して子どもゆめ基金助成事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）として活動しております。

## 【実績】

- ・少年の学び場“Yokohama ちゃれんじゃーず” \* 赤城林間学園 26 回
- ・青少年野外活動研修会 \* 野島青少年研修センター他 17 回
- ・こうなん 野・山を歩こう会（5 月・11 月）\* 近郊のハイキング 37 回
- ・こうなんスキー・スノボの会（2 月下旬）13 回
- ・レクリエーション講習会（10 月）10 回
- ・永谷地区センター主催ディキャンプ（野外炊事とレク）12 回
- ・港南地区センター主催ワンパクサタデー（ウォークラリー他）4 回
- ・東永谷地区センター主催ワンパクサタデー（大型すごろく、羽子板他）2 回
- ・東永谷地区センター主催歴史散策（企画・ガイド）1 回
- ・野庭地区センターまつり（ヨーヨー、綿かし、ポップコーン）2 回
- ・永谷地区センターまつり（スーパーボール、綿かし、ポップコーン）5 回
- ・港南地区センターまつり（スーパーボール、綿かし、水飴）2 回
- ・桜道コミュニティハウス文化祭（スーパーボール他）6 回
- ・港南の歴史研究会主催区内歴史散策（ガイド）5 回
- ・港南区母親クラブのつどい「ワクワクホリデー」（スーパーボール他）4 回
- ・横浜市上大岡コミュニティハウス指定管理者（平成 21 年 10 月 1 日～）

## 2 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

(2) コミュニティスタッフの研修計画について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

### ア) 配置

- ・館長 1 名
- ・チーフ 1 名
- ・サブチーフ 1 名
- ・コミュニティスタッフ 6 名

### イ) 採用

館長は、協会理事長がその任にあたります。

チーフ、サブチーフについては、経験豊富なスタッフから選任いたします。コミュニティスタッフは、地域性を考慮して徒歩通勤、自転車通勤可能な区内在住者とし、自主事業を企画実践できる者といたします。いずれも、公募し勤務状況が良好で希望するものは継続可といたします。

(2) コミュニティスタッフの研修計画について

ア) スタッフ全員参加による研修会を毎月 1 回実施いたします。救急、防犯、接遇、人権及び安全についての意識を高めてまいります。

イ) 幼児、小学生、中学生各層向け事業の企画・実践に必要な専門性をもてるよう、自主事業実施の際に実習を行ってまいります。

3 個人情報の保護について

(1) 個人情報保護に関する措置

(1) 個人情報保護に関する措置

横浜市個人情報の保護に関する条例に基づき、ログハウス利用者の個人情報の収集は必要最小限とし、二次利用は一切認めず、記入された利用者カードは翌日に廃棄いたします。

全コミュニティスタッフに対し、個人情報保護の趣旨と取り扱いを徹底いたします。

#### 4 緊急時対応（危機管理のあり方）について

(1) 防犯、防災の対応について

(2) その他、緊急時の対応について

##### (1) 防犯、防災の対応について

防犯の対応については、近隣組織・団体との緊急連絡網をつくり、地域の施設を地域が見守っていけるよう連携を図ってまいります。また、研修・訓練を医療・警察等関係機関等と連携して行ってまいります。

防災計画については、防火管理有資格者（協会役員）による防災計画の策定を行うと共に、防火訓練を実施してまいります。

夜間警備については、年間を通じて民間警備会社に委託いたします。

防犯カメラ及び防犯ブザーの設置により、防犯を未然に防ぐようにしてまいります。

##### (2) その他、緊急時の対応について

職員の緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使して対応してまいります。

また、医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしてまいります。特に小中学校との連携強化を図るようにしてまいります。

**5 こどもログハウスの管理運営に対する基本方針**

- (1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由
- (2) 申請団体における港南台北公園こどもログハウスの管理運営の位置づけ

**(1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由**

協会の活動目的のひとつに、「子どもの健全育成を図る活動」があります。13年間培ってきた青少年リーダー育成の実績と青少年事業のノウハウを、木のぬくもりを感じるログハウスの事業に活かし、同時に小学生高学年・中学生ジュニアリーダー育成により、子どもの活動の輪を広げることができると考えております。また、ベットタウンとしての特徴は、子育て中の親の仲間づくりやコミュニケーション不足が課題になっております。子育て中の親、特に母親の仲間づくりを支援することは協会の活動目標である「まちづくりの推進を図る活動」に合致するので引き続き指定管理者を希望いたします。

**(2) 申請団体における港南台北公園ログハウスの管理運営の位置づけ**

協会は、長年にわたって青少年を対象に野外施設での活動を行ってまいりました。施設ボランティアの経験、地域文化の発展・向上に向けた社会教育活動の実績を活かし、利用者の満足度が高まることを基本にした管理運営を行ってまいります。具体的には、ログハウス・プロジェクトを設け、自主事業の企画運営のサポート、コミュニティスタッフに対する相談業務、簡易な補修や点検等サポート活動を行ってまいります。

## 6 地域の特性をとらえたこどもログハウスの管理運営について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園こどもログハウスの運営の考え方について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

分区から 39 年を経て、学校建設、地域施設、交通機関や道路など都市整備がなされてきました。一方、少子高齢化が進む地域の課題を抱えるようになっております。昼間人口が夜間人口の 73% というベッドタウンとしての特徴を持っており、留守家庭の子ども、子育て中の母親の割合は多い状況であります。

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園ログハウスの運営の考え方について

子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びを実現させてまいります。また、活動を通して小学校高学年・中学生の自主活動意識が高まるようにしてまいります。

幼児を抱える子育て中の親の支援事業や、子育て中の親をサポートする支援体制については、協会と保育ボランティアの協働による取り組みを行ってまいります。

木のぬくもりが感じられるログハウスの特性を活かした遊び・ゲームの指導、自由遊び時の安全管理に万全を尽くしてまいります。

また、土日曜日の学校行事による月曜振替日に、小中学生が午前中から利用できるよう、第 3 火曜日を休館日（スタッフ研修、定期清掃日）といたします。

## 7 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

(1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

(1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

ア) 地域代表や利用者、公募による区民などで構成する「ログハウス委員会」を設置し、地域の特性や利用者のニーズを把握してまいります。

イ) 小学生(3年生～6年生)10名程度で構成する「どんぐり子ども委員会」を設置し、子ども達の声や要望が反映される施設にまいります。

ウ) 利用者の声ポストを設置し、また必要に応じ広く意見を聞くようにまいります。

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

ア) 把握したニーズについて、緊急に改善すべき事項、状況把握に努めて結論を出す事項など内容分析をログハウス・プロジェクトと毎月開催のスタッフ研修会で行い、検討状況や結果については館内掲示板、どんぐりだより(年4回発行)、ログハウス専用ホームページ(平成20年4月開設)などで情報を提供してまいります。

イ) 区役所に寄せられた要望や地域懇談会等での意見についても、区役所等行政機関と連携することで運営に反映してまいります。

ウ) 自主事業(イベント)等のお知らせの方法として、こうなん区広報、どんぐりだより及び地域広報掲示板を活用し、広く区民に情報を提供してまいります。



**8 自主事業の提案について****(1) 自主事業計画に関する基本方針**

※ 具体的な計画については、様式 2 及び様式 3 に記載すること

**1) 自主事業計画に関する基本方針**

- ア) 子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びやゲームができるようにしていきます。
- イ) 公園を活用した野外活動を行っていきます。
- ウ) 自主事業活動を通して小学校高学年・中学生のジュニアリーダー育成を図っていきます。
- エ) 幼児を抱える子育て中の親を対象に、保育者を配置した講習会などを開催いたします。同時に、参加した母親同士が自主活動グループを立ち上げられるよう支援いたします。
- オ) 自主事業の企画については、ログハウス委員会、どんぐり子ども委員会、港南区街の先生の会、保育協力者グループ、ログハウス・プロジェクト、コミュニティスタッフの協働で取り組んでまいります。

## 9 利用者の安全対策について

- (1) 安全にサービスを提供するための対策について
- (2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

## (1) 安全にサービスを提供するための対策について

- ア) 館内チェックリスト、遊具チェックリストを作成し、毎日の点検励行、専門業者による定期点検を行っていきます。
- イ) 利用者の理解度に合わせて、遊具の使用方法の伝達、危険を伴う遊びやゲームに対する注意指導を行っていきます。
- ウ) 館内表示を子どもの視点に立った内容にするよう工夫していきます。

## (2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

- ア) スタッフの役割を明確化し、緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使して対応していきます。  
ログハウスと協会担当役員との連絡体制は常時可能な常態にし、事故発生時のバックアップ体制が取れるようにしていきます。
- イ) 事故（負傷）が発生したときは、事故（負傷）の状況により、救急措置、自宅連絡、応急措置など即対応します。また、事故（負傷）報告書を区役所に送付、同時に保護者説明用として状況報告書を作成します。
- ウ) 医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしていきます

**10 管理経費に関する考え方**

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

**(1) 効率的な運営のための具体的な計画について**

- ア) 効率的運営を行うため、協会が会計経理、労務管理を一体的に行うことで、経費を節約することが可能となり、施設管理経費の縮減に努力していきます。
- イ) 利用者や利用グループと一緒にイベントの企画運営ができるように努めていきます。
- ウ) 学校の長期休暇や季節にあった自主事業を行うこととし、支援スタッフが指導者を務めるようにいたします。

**(2) 経費節減のための工夫について**

- ア) 器具備品の小破修繕など出来るところは、協会会員が行うことといたします。
- イ) 施設管理に関する業者選定は、迅速性をも考慮し区内及び近隣区から選定できるようにしていきます。
- ウ) イベント等の材料費について、参加者が持ち帰れるものについては有料を検討していきます。
- エ) 館外設置の自動販売機機能を活かせるようにしていきます。

**(3) 第三者評価**

平成 19 年 10 月 24 日に出された第三者評価シートをもとに、管理水準のより一層の維持向上を図るようしていきます。

## 平成 22 年度港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人

港南区レクリエーション協会

事業名	対象	自主事業予算額				
		総経費	収入		支出	
			委託料	その他	材料費	その他
お誕生会 (17回目)	幼児と親 小・中学生	53,000	35,000	18,000	28,000	25,000
ビックリハウス	小学生	16,000	16,000		10,000	6,000
窓にお絵描き (年6回)	幼児 小学生	12,000	12,000		12,000	
森の木と遊ぼう (年2回)	幼児 小学生	12,000	12,000		6,000	6,000
どんぐり劇場 (年2回)	幼児・親 小学生	27,000	27,000		3,000	24,000
森のコンサート (年2回)	幼児と親 小・中学生	32,000	32,000		8,000	24,000
七夕かざり	幼児 小・中学生	11,000	11,000		5,000	6,000
夏休み工作	幼児 小学生	14,000	14,000		8,000	6,000
カプラで遊ぼう	小学生	15,000	15,000			15,000
どんぐり工作	幼児 小学生	8,000	8,000		8,000	
クリスマス会	幼児と親 小・中学生	36,000	36,000		18,000	18,000
お正月遊び	幼児と親 小・中学生	12,000	12,000		6,000	6,000
豆まき	幼児 小・中学生	8,000	8,000		5,000	3,000
春のスケッチ	幼児 小学生	19,000	13,000	6,000	10,000	9,000
親子で集まろう「ふれあい広場」(8月を除く月2回)	幼児・親	33,000	33,000		11,000	22,000
おはなし会 (月1回)	幼児・親	12,000	12,000			12,000
		320,000	296,000	24,000	138,000	182,000

事業ごとに内容を様式3に記載してください。

## 平成 22 年度港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

## 16-1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お誕生会 (17回目)	「どんぐりハウス」開設17周年記念イベントとして開催。館内では「新聞プール」「どんぐりマークを探せ」など、幼児から中学生までが遊べるゲームを行います。館外ではベランダでのバルンアート、玄関前広場では綿かし、ポップコーン、スーパーボールなどを出店します。運営については、どんぐり子ども委員会とスタッフが一緒になってお店屋さんやゲームを行います。また、開催日は港南台北公園で行われる日野連合ふれあい子ども祭に合わせて行います。	4月29日(休) 年1回

## 16-2

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもビックリハウス	ダンボールを使った迷路などで遊びます。	5月5日 年1回

## 16-3

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
窓にお絵描き	ガラス窓に思い思いのお絵描きをして楽しみます。	5月、7月、9月、 11月、1月、3月 の第1土曜日 年6回(1月は第 2土曜日)

## 16-4

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森の木と遊ぼう	公園の大きな木を使ってロープ遊びを行います。異年齢、異学年間の遊びをとおして、子どもリーダーを育成します。企画及び実施に際しては区役所(土木事務所)との協働で行なえるようにしていきます。	6月6日(日)、10 月9日(土) 年2回

## 16-5

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんぐり劇場	少し暗い部屋の中で、お友達と肩を寄せ合い、スポットライトに照らされた舞台上で繰り広げられる人形劇、パネルシアター、映画会など、わくわく、ドキドキ、たくさんのことを感じてもらい、豊かな心を育てることを目的とします。 街のアドバイザーの協力を得て行います。	6月6日(日)、10 月9日(土) 年2回

## 16-6

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森のコンサート	ログハウスのベランダと周辺を使って、楽器演奏や歌唱を楽しみます。	6月5日(土)、 10月10日(日) 年2回

## 16-7

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕かざり	七夕かざりをつくります。「どんぐりハウス」に飾る大きなもの、持って帰れる小さなものをつくります。材料の笹や竹については、地域の方の協力を得て入手します。また、幼児や小学生の飾りつけに中学生のお手伝い参加を呼びかけます。	7月1日~7日 年1回

## 16-8

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作	夏休みの作品を作り、違う学校に通う人と触れ合うことでコミュニケーションのとり方を学びます。横浜G30の観点からも牛乳パックやペットボトルを主な材料に使用します。	7月24日(土)、 25日(日) 年1回

## 16-9

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カプラで遊ぼう	カプラで思い思いの造形を楽しみ、遊ぶ仲間意識を育てます。	6月、8月、10月、12月、3月 年5回

## 16-10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんぐり工作	公園に落ちたどんぐりを使った工作遊びをします。	11月8日～14日 (1週間) 年1回

## 16-11

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス会	飾り付けを利用者みんなで作ったり、うたやゲームでのお楽しみ会も行います。また室内コンサートも開催します。	12月19日(日) 年1回

## 16-12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お正月遊び	百人一首、かるた、トランプ、羽子板、コマ回し、福笑いなど集団ゲームで遊びます。ゲームを知っている人、初めての人、誰でも楽しめるよう指導者を配置します。プラ板作りも行います。	1月4日～6日 年1回

## 16-13

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豆まき	節分をみんなで楽しみます。	2月3日(木) 年1回

## 16-14

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
春のスケッチ	ログハウスのベランダや公園内でスケッチを楽しみます。作品は館内に展示します。★有料	3月26日(土) 年1回

## 16-15

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で集まろう「ふれあい広場」	幼児を抱える親子を対象に、親子遊び絵本の読み聞かせを楽しみます。定期的に開催することで集う人たちが顔見知りになり、子育て仲間をつくることができ、互いに助け合うことができます。街のアドバイザーの協力を得て行います。	毎月第2、第3木曜日(午前11時～11時30分) 年22回 *8月休み

## 16-16

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お話し会	幼児を抱える親子を対象に、童話や絵本のお話しを通して、想像する心を育てます。街のアドバイザーの協力を得て行います。	毎月第1火曜日(午前11時～11時30分) 年12回

(様式5)  
平成22年度

収支予算書

施設名 港南北公園こどもログハウス

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,222,000				0	横浜市より
利用料金収入						
自主事業収入	24,000				0	
雑入	153,000	0	0	0	0	
印刷代					0	
自動販売機手数料	150,000				0	
その他(電話代)	2,700				0	
その他(利息)	300				0	
その他( )					0	
収入合計	7,399,000			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	5,279,000	0	0	0	0	
給与・賃金	5,200,000				0	給与、アルバイト賃金
社会保険料	15,000				0	
通勤手当	0				0	
健康診断費	64,000				0	
勤労者福祉共済掛金	0				0	
事務費	835,000	0	0	0	0	
旅費	5,000				0	説明会、打合せ会他
消耗品費	360,000				0	折り紙、コピー紙他
会議賄い費	5,000				0	委員会バック茶
印刷製本費	10,000				0	資料印刷
通信費	60,000				0	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	1,000				0	委員会会場費
備品購入費	120,000				0	遊具
図書購入費	25,000				0	児童書
施設賠償責任保険	140,000				0	施設賠償責任保険
職員等研修費	5,000				0	施設研修
振込手数料	12,000				0	銀行振込手数料
リース料	75,000				0	コピー機
手数料	0				0	
地域協力費	0				0	
その他	17,000				0	緑の協会、花壇材料
事業費	320,000	0	0	0	0	
自主事業費	320,000				0	16事業
わんぱくホリデー					0	
管理費	885,000	0	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	
水道料金					0	
清掃費	370,000				0	定期清掃、ゴミ袋代
修繕費	150,000				0	補修材料費
機械警備費	315,000				0	機械警備
設備保全費	50,000	0	0	0	0	
空調衛生設備保守					0	
消防設備保守	15,000				0	保守点検
電気設備保守					0	
害虫駆除清掃保守					0	
その他保全費	35,000				0	消火器
共益費					0	
公租公課					0	
事務経費	80,000				0	経理事務費、事務用品
ニーズ対応費						
支出合計	7,399,000	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--



単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

## 平成22年度港南台北公園こどもログハウス収支予算書

### I. 指定管理料

(単位:円)

提案額(a) (消費税及び地方消費税を含む)	7,222,000
---------------------------	-----------

指定管理料＝小計【イ】を記入  
※区指定上限額(b)の範囲内で提案してください。

※区指定上限額(b)	7,222,000
------------	-----------

差引(a)－(b)	0
削減率(a)／(b)	100.0%

### II. 平成 22 年度収支予算書(総括表)

#### 1 収入の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
自主事業収入 [A]	24,000	
雑入 [B]	153,000	
小計【ア】([A]～[B])	177,000	施設運営収入の計
指定管理料 [C]	7,222,000	【ウ】－【ア】
小計【イ】([C])	7,222,000	指定管理料の計
収入合計([A]+[イ])	7,399,000	

#### 2 支出の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
人件費 [a]	5,279,000	
事務費 [b]	835,000	
自主事業費 [c]	320,000	
管理費A(光熱水費等) [d]	0	
管理費B(保守管理費等) [e]	885,000	
公租公課 [f]		
事務経費 [g]	80,000	
支出合計【ウ】([a]～[g])	7,399,000	

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。

平成22年度の収支を記入してください。



単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

## 平成22年度収支予算書

## 1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
自主事業収入	第17回お誕生会	出店収入	ア 18	
	春のスケッチ	参加費	イ 6	
			ウ	
			エ	
			オ	
		小計		[A] 24
雑入	自動販売機手数料		カ 150	
	電話代他		キ 3	
			ク	
			ケ	
			コ	
			サ	
		小計		[B] 153
小計【ア】		施設運営収入計	177	[A]~[B]

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。  
平成22年度の収入を記入してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

## 平成22年度収支予算書

## 2 支出の部内訳

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員		ア	
	時給スタッフ		イ	5,200
	社会保険料他	社会保険料、健康診断費	ウ	79
	小計		[a]	5,279 ア～ウ
事務費		旅費、消耗品費、会議賄い費、印刷製本費、通信費、使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、施設賠償責任保険、職員等研修費、振込手数料、リース代、その他	[b]	835
自主事業費		16事業	[c]	320
管理費A	電気料金		エ	0
	ガス料金		オ	
	上下水道料金		カ	0
	小計		[d]	0 エ～カ
管理費B	修繕費		キ	150
	清掃		ク	370
	消防設備		ケ	15
	機械警備		コ	315
	空調設備		サ	
	エレベーター		シ	
	自動ドア		ス	
	電気保守管理点検		セ	
	非常用放送設備		ソ	
	害虫駆除		タ	
	植栽管理		チ	
	設備総合巡視点検		ツ	
	その他	その他保守費	テ	35
			ト	
		ナ		
		ニ		
小計		[e]	885 キ～ニ	
公租公課	消費税(仕入税額控除後の額)、法人市民税、事業所税など		[f]	
事務経費	労務、経理、契約、職員研修など		[g]	80
小計【ウ】	施設管理運営経費計		7,399	[a]～[g]

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。  
平成22年度の支出を記入してください。

単位：千円

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人件費													
給与・賃金	430	440	430	440	440	430	440	430	430	425	425	440	5200
社会保険料	15												15
その他							32	32					64
旅費	5												5
消耗品費・備品費	40	40	20	40	20	20	40	40	40	20	20	20	360
印刷製本費	3			2			3			2			10
手数料	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
その他	180	40	20	20	20	20	40	20	28	20	20	20	448
自主事業費	80	20	10	15	15	10	40	10	50	20	20	30	320
その他													
光熱水費													
設備保全費等	85	70	75	70	75	75	70	70	85	70	70	70	885
その他													
公租公課													
事務経費	5	5	10	5	5	10	5	5	5	10	5	10	80
二一ズ対応費													
その他													
支出合計(ア)	844	616	566	593	576	566	671	608	639	568	561	591	7399
横浜市指定管理料(委託料)	1,172	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	7,222
その他の補助金等													
利用料金収入													
自主事業収入	18												24
その他の収入	18	14	14	16	19	16	12	7	10	7	7	13	153
収入合計(イ)	1,208	564	564	566	569	566	562	557	560	557	557	569	7,399
差引残高(イ-ア+前月残高)	364	312	310	283	276	276	167	116	37	26	22	0	